

経尿道的膀胱腫瘍切除術クリニカルパス

氏名 _____ 様

病日 日付	入院日	手術日	1病日	2病日(退院日)
観察	入院時・夕方検温します 	手術前・帰室時・3時間後以降6時間毎に検温します 	1日2回検温します 	
	尿の量・尿の色をみます	☆手術後、以下のことを観察します☆ 下肢の感覚が戻っているか、尿の量(3時間毎)、イキミ 症状 お尻の圧迫で赤くなってないか、排尿用の管がしっか り 固定されているか・管の脇から尿が漏れないか、尿の 量・色をみます	☆排尿用の管を抜去後以下の項目を観察します☆ 排尿間隔(何時間おきに尿がでているか) 残尿感(尿の残った感じ)	
安静	特に制限はありません 	手術後はベッドの上で安静になります 寝返りはうてますが、ベッドの横に降りたり 起きあがったりはできません 	回診後は歩行してかまいませんが、 排尿用の管からの出血の状態により 制限されることもあります	
食事	普通食がでます  午前手術の方は 夜9時以降飲食できません 午後手術の方は 夜9時以降食事のみできません	午後手術の方は、朝8時まで水分がとれます 	普通食がでます  食事の制限は特にありません 1日1000mL以上の水分を飲むようにしましょう 	
清潔	入浴できます 		シャワーを浴びることができます 排尿用の管が抜けたら入浴ができます 	
排泄		手術後は排尿用の管が入ります ベッド上安静のため、排便はベッド上で行ないます	排尿用の管が抜けたらトイレで尿を測るようお願いします。 安静解除後は排便はトイレでできます	
診察		医師の回診が8時頃よりあります。ベッドで休んでお待ちください 		
処置	寝る前に下剤を飲みます 	手術前に浣腸をします	回診時排尿用の管を抜きます(1病日または2病日) 	
検査			朝 採血があります 	
薬物療法	今まで飲んでいて薬は 薬剤師に渡してください 	持参した薬は種類によって飲むものもあります 回診時に針を刺し、点滴を入れます  点滴は翌日まで持続で入ります 手術中に抗生剤の点滴を行います 手術後、腰に麻酔の管が入ってきます。そこから痛み止めの薬を入れます(1病日目まで) 痛みやイキミの症状があれば硬膜外カテーテルからの薬または坐薬を使用します	点滴が1日2本あります 	
説明	入院生活について説明します 手術について説明し、同意書の サインを確認します 排尿用の管について説明します 		尿量の測定方法について説明しま す	退院後の生活について説明します 退院時に次回外来の予約券をお渡ししま す
指導	入院治療計画書をお渡しします			
目標	・手術や入院中の予定がわかる	・術後の安静が守れ、術後出血が増強しない ・術後の痛みのコントロールができる	・術後、歩行できる ・術後出血が増強しない ・排尿用の管が抜けた後自然排尿が ある ・尿量の測定方法がわかる	・排尿パターンが安定し、退院後の生活が わかる